



2021年12月24日

各位

会社名 株式会社アーレスティ
代表者名 代表取締役社長 高橋 新
(コード番号 5852 東証第1部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 成家 秀樹
(TEL 03-6369-8664)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定されている東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、プライム市場を選択する申請書を提出しました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準の適合状況は、以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」については、基準を充たしておりません。しかしながら、プライム市場に移行することはグローバルで事業を展開する当社の持続的成長と中長期的な企業価値向上において必須であるとの考えから、当社は「流通株式時価総額」に関して、次期2224中期経営計画（計画対象期間：2022年度～2024年度）の最終年度末となる2025年3月までに上場維持基準を充たすため、各種取り組みを進めてまいります。なお、次期2224中期経営計画は2022年5月頃開示予定であり、計画策定後、速やかに開示いたします。

【プライム市場の上場維持基準への適合状況】

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金	時価総額
当社の状況 (移行基準日時点)	-	192,052 単位	92 億円	73.6%	8.5 億円	-
上場維持基準	-	20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円	-
計画書に記載の項目	-		○			-

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

(1) 基本方針

アーレスティグループの持続的成長と中長期的な企業価値向上を目指し、10年ビジネスプラン及び中期経営計画に基づく収益体質の改善・強化及び持続的な株主還元、適時適切な情報開示による積極的な市場との対話を図るとともに、政策保有株主による政策保有株式の縮減も視野に入れ、流通株式時価総額の基準の達成を目指してまいります。

(2) 課題及び取り組み内容

(課題)

当社は、一定の株主数や流通株式数等を確保しながらも「流通株式時価総額」が基準に到達していないという結果について、株主及び投資家の求める業績水準に達していない、期待に応えられていないことが、「株価」並びに「時価総額」の低迷の主な要因であると考えております。

(取り組み内容)

現在進行中の「1921中期経営計画」（2019年度～2021年度）、及び、当社の創業100周年（2038年）を見据えて策定した「2040年ビジョン」とこれに基づき策定する2030年マイルストーン「10年ビジネスプラン」並びに「次期2224中期経営計画」（2022年度～2024年度）の達成により収益体質の改善・強化及び持続的な株主還元を実現します。また、株主及び投資家との対話に向けてIR・SR活動をより充実させることにより、企業価値を向上させ、株式市場での評価の向上を図ります。加えて、「流通株式数」を増加させる取り組みとして政策保有株式についてその保有目的の確認・対話を通じ適宜縮減を図ります。

当社グループの主力事業であるダイカスト事業は、営業収入の9割以上を自動車関連が占めていることから、国内外の景気動向による自動車市場の需要変動に大きく影響される状況にあります。また、自動車産業は、100年に一度の大変革期とも言われており、各国の産業政策や燃費規制、CASE（Connected（コネクティッド）、Autonomous/Automated（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化））をはじめとするモビリティとしての自動車の役割の変化が進み、当社が現在主力としている製品群が変化していくことが予想されております。当社としては、短期的には自動車メーカーの内製部品のアウトソーシングが進むことも想定し、その受注増加の機会をしっかりと捕捉していくと共に、中長期的には電動化に伴う車体軽量化ニーズへの対応の中で、従来のパワートレイン系部品だけでなく、電動化部品の受注拡大、ボディ・シャーシ等の車体系部品群への進出を強化する所存です。現在、1921中期経営計画を推進し、電動化を中心とした「自動車の軽量化に貢献するアーレスティ」を目指し、次の三つを柱とし、取り組んでおります。

■1921中期経営計画（計画期間2019年度～2021年度）

1. 将来の自動車市場を見据えた事業戦略

地域ごと顧客ごとのニーズに合わせた最適な営業戦略を立案し活動を推進した結果、主要顧客からは従来のパワートレイン系部品に加え電動化部品も受注・量産開始しており、2021年度上期

の新規受注に占める電動車搭載部品比率は65%となりました。

2. 生産性向上、品質向上による稼ぐ力のアップ

良品を効率的に生産するため、最適生産条件管理（OPCC：Optimal Process Condition Control）を追求し、エンジン部品やミッション部品で大幅な品質向上を達成しました。また、徹底した合理化・省人化によるリーンな生産体制の構築、検査の自動化やからくり活用による工夫などによる各工程の様々なロスやムダを削減し、更なる生産性改善と原価低減を進めており、収益力向上に向けて取り組んでおります。

3. 企業の成長を支えるひとづくり

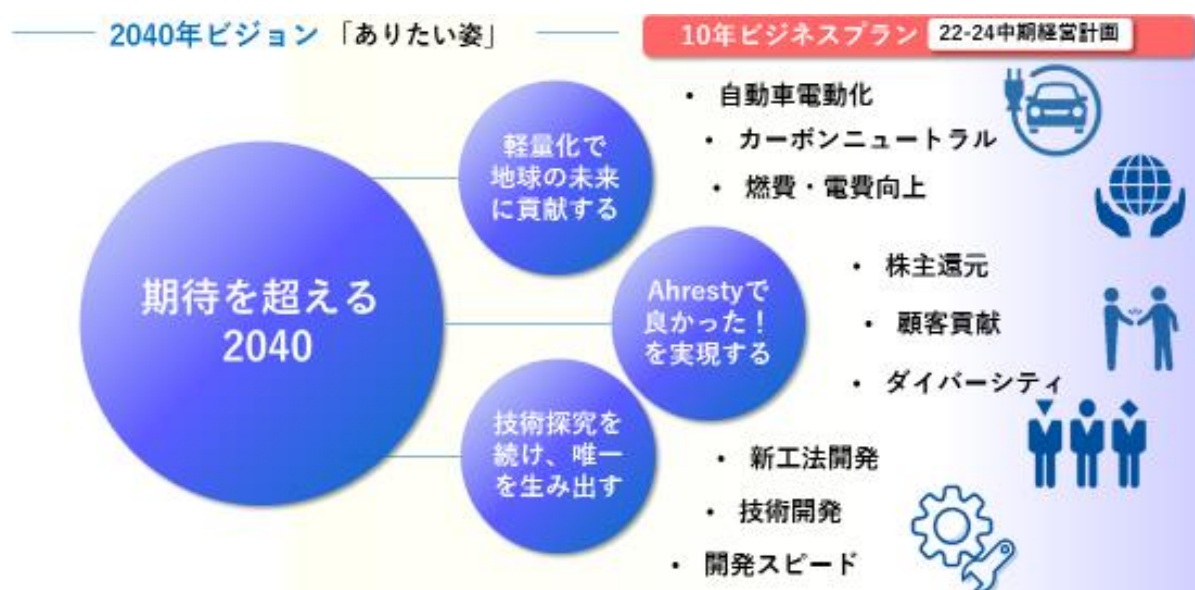
やりがい・誇りを持ちながら会社と従業員がともに成長できる企業を目指し、戦略的人材育成計画（人材ロードマップ）に基づきグローバルで活躍できるような人材の育成を推進すると共に、作業負担が低く（エルゴノミクス）かつ快適な作業環境の実現に向けた作業環境の改善を進めることで災害や事故のない安全で心身共に健康で働きやすい職場の実現に向けて取り組んでおります。

当社グループを取り巻く経営環境は、自動車市場の変化、新型コロナウイルス感染症拡大に加え、世界的な半導体不足の影響により、従来以上に不透明な状況にあり、今後の動向を引き続き注視していく必要があります。大変厳しい経営環境であればこそ変革のチャンスと捉え、創業100周年（2038年）を見据えた当社グループの進むべき方向として「2040年ビジョン」を定め、これに基づく「10年ビジネスプラン」及び「2224中期経営計画」の策定を進めております。

■2040年ビジョン・10年ビジネスプラン・2224中期経営計画

○位置付け

- ・2040年ビジョン：創業100周年（2038年）を見据えた当社グループの進むべき方向を設定
- ・10年ビジネスプラン：2040年ビジョンへの2030年マイルストーンを設定
- ・2224中期経営計画：10年ビジネスプランの2022～2024年度の初回アクションプラン



○2040年ビジョン「期待を超える2040」

2040年ビジョン「期待を超える2040」の「ありたい姿」として下記3つ決めました。

- ・軽量化で地球の未来に貢献する
- ・Ahrestyで良かった！を実現する
- ・技術探究を続け、唯一を生み出す

○10年ビジネスプラン

当社グループが主力とするアルミダイカストは軽量かつ設計自由度や生産性に優れており、車体軽量化ニーズへの対応の中で、従来のパワートレイン系部品だけでなく、電動化部品の受注拡大、ボディ・シャーシ等の車体系部品群に使用することで燃費・電費向上に貢献できると考えております。また、電動車向けダイカスト需要が急速に増加していることを受け、当社グループは、電動化部品受注に向けた営業機能の強化による顧客提案や戦略・企画立案の推進に向けて取り組み、ダイカスト事業のポートフォリオについて従来のパワートレイン系部品中心から電動化部品・車体系部品群中心へのシフトを図ります。

ダイカスト事業のポートフォリオのシフトに合わせ、当社グループの更なるものづくり力の向上を目指してまいります。従来のパワートレイン系部品の製造において培った保有技術・ノウハウを電動化部品・車体系部品群の製造に活用・応用し、電動化部品・車体系部品群の製造における最適製造条件でプロセスを制御するOPCC(Optimal Process Condition Control)の実現、統計的品質管理手法を活用した生産性改善技術のほか保有する固有技術で高い品質と生産性を両立させると共に、接合技術等の技術開発による市場開拓にも取り組んでまいります。

収益面について、10年ビジネスプランでは収益体質の改善・強化に向け、①収益構造改善（固定費削減）、②収益確保（原価低減）、③収益管理（投資効率等）の3つの観点より、施策に取り組んでまいります。その結果に基づく財務目標として、2030年度の売上高1,600億円、営業利益率6%としております。

株主への利益配分につきましては、中長期的な事業発展のための財務体質と経営基盤の強化を図りつつ、適正な利益還元を行うことを基本方針に据え、企業成長に必要な投資額及び配当性向を勘案したうえで、連結業績に基づいた配当を行ってまいりました。直近は新型コロナウイルス感染症拡大によるグローバルでの生産の急激な減速等の影響を受け、配当金も低下しておりましたが、10年ビジネスプラン及びその初回アクションプランである2224中期経営計画のもと早期の収益改善を果たし、連結業績に基づく配当性向の目安が35%程度となるよう、努めてまいります。また、業績水準の回復により株主及び投資家の期待に応えることで株価・PBRの向上を図ります。

10年ビジネスプランのKPI・目標値の一部を下記にてご説明いたします。

10年ビジネスプラン	KPI	目標値（2030年度）
財務目標	売上高	1,600億円
	営業利益率	6%

10年ビジネスプラン	KPI	目標値（2030年度）
自動車電動化	電動車売上比率	55%
燃費・電費向上	車体系製品売上高	40億円
カーボンニュートラル	CO2排出量原単位削減	▲50%（2013年度比）
顧客貢献	顧客表彰	主要顧客の最上位評価獲得
ダイバーシティ	経営幹部の多様化	部門長・執行役員の多様化（女性、外国人、職歴、年齢等）
	女性従業員比率（国内）	20%以上 ※現：13.5%
	女性管理職比率（国内）	10%以上 ※現：2.8%

また、当社は以前よりサステナビリティを巡る課題への取り組みが重要であると認識しており、2020年にサステナビリティ会議を立ち上げ、気候変動をはじめとしたSDGsモニタリング課題について、マテリアリティ分析に基づくサステナビリティ戦略を推進しております。10年ビジネスプランにおいても、カーボンニュートラルを項目として取り上げ、KPIとしてCO2排出量原単位を設定しており、エネルギー転換、省エネ活動、再生可能エネルギー活用、その推進のための生産技術開発も合わせて取り組んでまいります。

当社グループのステークホルダーのAhrestyで良かった！の実現に向け、顧客表彰の獲得、従業員の満足度向上・ダイバーシティの実現を10年ビジネスプランの項目として取り上げております。ダイバーシティの実現に向け、経営幹部の多様化、女性の従業員及び管理職比率については上記KPI・目標値を設定しております。当社グループのグローバル戦略を支える経営幹部の構成として、女性及び外国人等の多様性（職歴、年齢含む）を確保した構成とする必要があることから、海外従業員や女性の経営幹部への積極登用を推進するため、経営者候補人材の育成体制の整備や海外従業員の現地経営幹部への登用に向けた体制構築等の施策に取り組むとともに、人事戦略・運営とキャリア支援の実施、多様な働き方を実現する制度の設計、職場の改善等、施策の推進に取り組み、結果として経営幹部の構成における多様性の確保、女性の従業員及び管理職比率の向上を図ります。

○2224中期経営計画

- ・対象期間：2022年度～2024年度（3年間）
- ・開示予定：2022年5月頃 計画策定後すみやかに開示いたします。

株主・投資家の皆様に当社への理解や信頼を高めていただくため、IR・SR活動をより充実させるべく、適時適切な情報開示による積極的な市場との対話を進めてまいります。加えて、政策保有株式に関しましては、当該株主との積極的な対話を推進し、当該株主の政策保有に関する方針（保有目的・保有効果等）を尊重した上で、適宜縮減を図ります。

以上